



顧客：

Airflux、フランス市場における空気圧縮機の手先サプライヤー。

課題：

廃熱を回収し、コストと二酸化炭素排出量を削減する。

ソリューション：

AirfluxのEcosph'Air

エネルギー回収システムが空気圧縮機から熱を回収し、プロセス産業、家庭用温水生成、および暖房システムで再利用する。

熱交換器：

Airflux向けとして、SWEPは、様々な用途に対応するため、多岐にわたるタイプとサイズのBPHEを数多く設置しました。

結果：

効率改善、コストと二酸化炭素排出量の削減、そして投資回収期間の短縮を実現しています。

AirfluxとSWEP - 空気圧縮機からの廃熱回収

熱を回収し、効率化、コスト削減、排出量削減を実現

空気を圧縮する過程では、大量のエネルギーが熱の形態で発生します。空気圧縮機に熱回収ソリューションが導入されていない場合、システムで発生する熱の大部分が失われてしまいます。このため、効率重視の企業は、熱回収能力を圧縮空気システムの重要な要素と捉えています。

AirfluxのEcosph'Airエネルギー回収システム

空気圧縮システムの熱回収の効率を最大化するため、AirfluxのエンジニアはEcosph'Airエネルギー回収システムを設計し、圧縮時に発生する熱を回収して工業プロセス、温水生成、暖房システムに利用できるようにしました。無駄になるエネルギーを削減し、光熱費も低減できることで、投資回収期間が最適化されます。多くの場合、投資回収期間を6か月まで短くすることが可能です。圧縮空気システムに熱回収ソリューションを導入することを選択した企業は、大幅なコスト削減を実現できると同時に、二酸化炭素排出量も削減できます。

SWEP BPHEの役割

Ecosph'Airの設計段階における重要な決定の一つは、適切なタイプの熱交換器を選択することでした。他の技術と比較して、ろう付け式プレート熱交換器には、コンパクトなサイズ、効率の向上、高信頼性など、数多くの利点があります。

Airfluxの研究開発責任者であるJosé De Oliveira氏は、2つの実例を挙げています。

- おむつ業界向けの充填材を製造する顧客施設には、定格出力300 kWの圧縮空気システムがあり、210 kWのエネルギー回収が可能です。このシステムには4つのEcosph'Airシステムが含まれており、5台の圧縮機からエネルギーを回収し、プロセス過熱と空間暖房に利用しています。
- Airfluxは、産業用標識製造施設に1.2MWの圧縮空気システムを設置し、さらに圧縮機からの熱を回収するための熱交換器も設置しました。利用可能なスペースを最大限に活用するため、熱交換器は圧縮機の上部に設置されました。本顧客の暖房システムで再利用される回収エネルギーの総量は約800 kWです。



SWEPを選択した理由は？

「AirfluxがSWEPをパートナーとして選定した主な理由は2つあります。まず、SWEPは熱交換器業界において高く評価されている、よく知られたブランドであることです。そして、当社の主要パートナーの一家が既にSWEPのろう付け式プレート熱交換器をそのシステムに組み込むことに成功していたのです。SWEPの熱交換器を顧客の機器に組み込むことで良好な実績を得ていたため、熱交換器の供給業者としてSWEPを選定することは自然な選択でした」とAirfluxのMarc Delannoy総支配人は述べています。



Airfluxについての詳細

フランスのリールを拠点とするAirfluxは、フランス市場向け空気圧縮機の手先サプライヤーです。「当社の市場戦略には3つの柱があります。第一に、当社は可能な限り最高のエネルギー効率で圧縮空気を生成および供給できる圧縮機とシステムを選択し、顧客に提供することを目指しています。第二に、顧客がより効率的に圧縮空気を生成できるよう支援し、無駄を最小限に抑える方法を提案しています。また、そのためのサポートとして、監査および漏洩削減キャンペーンを実施しています。第三に、顧客の工程で再利用するために熱回収の最大化に努めています。」

Airfluxの熱回収におけるSWEPの貢献について見る>



SWEP BPHE